



# はくあい

佐賀市立中川副小学校 学校通信

No. 16 令和8年1月14日

文責：校長 中武 友子



## 新学期スタート！6年生との日々を大切にします！

3学期始業式の朝、吐く息が白く見えるほど寒い中に、地域や保護者の方々のあいさつの声に迎えられ、子どもたちは元気に登校してきました。冬休み中は寂しかった校舎が、あつという間に子どもたちの声と笑顔で、明るく満ちていきます。子どもたちのエネルギーはすごいと毎学期明けに思います。

常に学校をリードしてくれた6年生が登校する日が、残り40日ちょうどとなりました。1年生が入学したときからずっと隣から支えてくれていた6年生、昼休みの外遊びをまとめてくれた6年生、困っている下級生に率先して声をかけてくれた6年生、集会やプロジェクトで大役を担ってくれた6年生…。残り40日、6年生はきっと、中川副小学校と中っ子たちのために、今まで培った力を惜しみなく発揮し続けてくれることでしょう。5年生たちは、いつも優しい6年生たちの姿を胸に、中っ子最上級生の不易として受け継いでいけるよう準備してくれることでしょう。児童、職員ともに3学期の日々を大切に過ごし、素敵な思い出をつくっていきたいと思います。3学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

### 2学期末「新しい日本に～龍馬の心～」の学習をした6年生の振り返りより

これから自分たちのできることで、日本がどんどん変わっていくと思うので、安全や思いやりで、日本をずっとよい国にしていきたい。日本がずっとよい国であるように、私たちも自分たちでできることはやる！

三川さくら

口で言ったことを一人でできるかは分からないけど、少しでもできることがあるかもしれないからがんばる！18歳になったら、選挙の日は絶対に行くことをちかいます。

松林たいが

これから日本を悪くするのではなく、どんどん良くしていく。そのためには、一人一人が地域の祭りや年中行事を大切にして、これから日本をよくするために、今の僕たちが動くことが大切。

實松ときのり

## 「子どもが主役の学校づくり」をめざして職員間で学び合っています！

2学期終業式後、3学期始業式前には、「子どもが主役の学校づくり」と題して、職員で研修を行いました。校長が先進校視察報告、佐賀市教育ビジョンの説明をした後は、「①子どもたちのどんな成長に出会ったときにうれしいか②どんな子どもたちを育てたいか③どんな教師になりたいか」を話し合い、まとめの3学期に向けて、また次年度の構想づくりに向けてのマインドセットアップを行いました。

②については、「困ったときに助けを求められる、乗り越えられる」「なんでもチャレンジしようとする、最初からあきらめない」「感謝できる」「友達の挑戦、失敗を応援できる」「自分のことが好き」「自分たちで学び合える」などなど、自他ともに認め合いながら成長していく子ども像をもっていることを確認しました。③については、「いつでも笑顔、元気、自分から行動する姿を見せる」「子どものやってみようを応援する、受け入れる」「できそうなところはあえて手を出さず見守る」「子どもに任せる勇気をもつ」「待つ、ほめる、認める」など、子どもたちに見せる後ろ姿を意識しながら、子どもたちの主体性を伸ばすことを大切に、「させる」教師から「支援する」教師への転換を目指すことを再確認しました。

右の写真は、研修前に全職員で撮影したものです。3学期も全職員で子どもたちの「きらり」を見つけていきます。

「子どもたちの活動のよさを認める、褒める、労う、感謝する」ことを大切にし、子どもたちが自分のよさに気づき可能性を伸ばせるような、プラスの影響を与えることをめざして全職員で取り組んでいきたいと思います。



## 一人ぐらしのお年寄りの方への年賀状をかきました ～青少年育成協議会との連携事業～

昨年度までは PTA の皆様の協力を得て花苗の贈り物を届けていました。ご協力ありがとうございました。今年度は方法を変えて、子どもたち一人一人が書いた年賀状を出すことにしました。低学年の子どもたちは馬や正月らしいイラストを中心に、高学年の子どもたちは相手を思いやった言葉を添えて・・・と心を込めて仕上げてくれました。「おじいちゃん、おばあちゃんが喜んでくれたらうれしいな」と言う子どもたちの言葉に癒され、思いが届きますようにと願ったところでした。



## 児童実行委員による「第2回きらりプロジェクト」



2学期の最後の週に6年生の有志が全校児童に「きらりカード」の記入を呼びかけたところ、多くの子どもたちが参加し、素敵な言葉を贈り合っていました。左は、実行委員が「きらりチャンピオン」に贈った「図書館のプラス貸し出し券入れ」です。

「喜んでくれるかな」と、相手を思



いながら制作する実行委員の子どもたちの優しさに感心し、感謝しました。右は職員が作った「きらりカード」の表紙です。年度末に、子どもたちに渡します。一緒に綴りますので、地域・保護者の皆様もご参加ください。カードは児童玄関に置いています。今月末の授業参観のチャンスにぜひ、お願いします。

## 4年生 5年生 ペットボトルキャップワークショップ

4・5年生が、2週間前から全校児童に呼びかけて集めたペットボトルキャップを使って、キーホルダーづくりに挑戦しました。

プラスチックのキャップをプラスチックのキーホルダーに変える体験をして、子どもたちは資源の有効利用の大切さに気づけたようです。自分の物だけでなく、家族や友達の分もつくる子どもたちの表情は、とても優しく素敵でした。



ペットボトルのキャップは、ずっとゴミだと思ってかんたんに捨てていたけど、すごくきれいな色のキーホルダーができて、ゴミとかんたんに捨てられないなと思いました。

だから、これからは、気づいたときにはリサイクルをしようと思います。

4年 さえさん

## 12月23日 バルーン係留！全校児童がバルーンに乗れました！

佐賀市主催のバルーン係留が年末に行われました。

佐賀大学熱気球部の皆さんのが、朝早くから運動場でバルーンを広げ、係留に向けて準備してくださいました。登校している子どもたちは、バルーンが膨らんでいく様子を感嘆の声を挙げながら見守っていました。天気が味方して、風が少ない午前中に、全員が校舎と同じ高さまで上がるバルーンに乗ることができました。

バルーンにのるのがたのしみで、早くのりたくてたまらなかったです。それでも、バルーンにのるまえは、バルーンがたかくて、きんちょうしました。でも、みんなといっしょにのれたから、きんちょうがとれました。上から見たけしきはきれいでした。

1年 れんとさん

